小学生向け　練馬区　学ぼう！ユニバーサルデザイン　電車の駅編

# 学ぼう！ユニバーサルデザイン

私たちのまちには、子育て中の人・お年寄り・障害のある人・外国人など、さまざまな人が住んでいます。この学ぼう！ユニバーサルデザインでは、身近にあるユニバーサルデザインの工夫を紹介しています。電車の駅編では、駅のなかにあるユニバーサルデザインの工夫について学びます。

途中で、クイズが５問出てきます。

君は、何問正解できるかな？

# ユニバーサルデザインって何？

ユニバーサルデザインとは、みんなにとって使いやすいように考えられたものや、心づかいのことです。

左の自動販売機は、車いすに乗っている人や、背の低い子どもは、ボタンに手が届いていません。しかし、右の自動販売機では、あらかじめ低い位置にボタンがつけられていたり、商品の取り出し口が腰をかがめなくても取り出せたりするため、誰にでも使いやすくなっています。このように、誰にでも使いやすいように工夫されたのがユニバーサルデザインです。

# ユニバーサルデザインとバリアフリーのちがい

よく聞く言葉で、バリアフリーがあります。

では、バリアフリーとユニバーサルデザインは、何がちがうのでしょうか？

バリアフリーは、障害のある人やお年寄りにとって、使いづらいものがあれば、なくしていきましょうという考え方です。たとえば、段差があって車いすを使っている人が通れない通路に、スロープをあとからつけるのはバリアフリーになります。

ユニバーサルデザインは、最初からみんなに使いやすいものをつくろうという考え方です。はじめから段差がないと、障害のある人やお年寄りだけでなく、足をけがした人やベビーカー利用の親子、重い荷物を持っている人など、誰にでも使いやすいですよね。

# ユニバーサルデザインがある理由

私たちのまちには、子育て中の人・お年寄り・障害のある人・外国人など、さまざまな人が住んでいて、生活の中で、困りごとを感じるときがあります。

車いすに乗っている人は、大きな段差や、階段は困るなぁ…

お年寄りは、バスの乗り降りが大変だなぁ…

外国人は日本語の案内だけだと、わからないなぁ…

視覚に障害のある人は、文字が大きくないと、読めないなぁ…

聴覚に障害のある人は、放送があっても、気づけないなぁ…

妊婦さんは、ずっと立っていると、大変だなぁ…

さまざまな人がいて、自分や周りの人もそうなるかもしれない。

だからこそ、最初からみんなに使いやすいユニバーサルデザインが必要なのです。

ここからはクイズに答えながら、みなさんの周りにあるユニバーサルデザインの工夫を学んでいきましょう。

# クイズ１　券売機のユニバーサルデザイン

券売機には、いろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。下にある中から、この券売機の工夫に当てはまるもののかずを数えてみよう。

この券売機のユニバーサルデザインの工夫は…

Ａ. カウンターしたにゆとりがある

Ｂ. 券売機に話しかけるだけで切符が買える

Ｃ. いろんな国の言葉で画面が操作できる

Ｄ. 2人分の切符をまとめて購入できる

Ｅ. お金の投入口に点字がついている

正解は　３つ

・カウンターの下にゆとりがあることで、車いすに乗っている人でも切符が購入しやすいんだね！

・英語や中国語などいろんな国の言葉に切り替えられるから、日本語がわからなくても使えるね！

・お金を入れるところに点字がついているから、視覚に障害のある人でも安心して使えるね！

もっとユニバーサルデザイン

券売機の横に点字の運賃表が設置されているから、視覚に障害のある人も切符の値段がわかるね！

# クイズ２　案内サインのユニバーサルデザイン

駅の案内サインには、いろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。下にある中から、駅の案内サインの工夫に当てはまるもののかずを数えてみよう。

案内サインのユニバーサルデザインの工夫は…

Ａ. 駅名がいろんな国の言葉で表示されている

Ｂ. 案内サインが立体的に浮き出ている

Ｃ. 音声で案内してくれる

Ｄ. 路線ごとにアルファベットや色が決められている

Ｅ. 駅ごとに番号がちがう

正解は　３つ

・アルファベットや色分けで路線が表示されているから、言葉がわからなくても安心して 電車に乗ることができるね！

・駅名が英語や中国語、韓国語でも表示されているよ。日本語がわからない人も安心して利用できるね！

・駅ごとに番号が振り分けられているから、降りる駅を間違えずに目的地に行くことができるね！

もっとユニバーサルデザイン

鉄道会社ごとに、アルファベットや色分けの他に丸や四角などでちがいがわかるように工夫されているんだよ！

# クイズ３　改札のユニバーサルデザイン

駅の改札には、いろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。下にある中から、改札の工夫に当てはまるもののかずを数えてみよう。

改札のユニバーサルデザインの工夫は…

Ａ. 高さがちがう改札がある

Ｂ. 交通系ICカードで改札を通ると、ピッと音が鳴る

Ｃ. 幅が広くなっている改札がある

Ｄ. 電車に乗った駅を教えてくれる

正解は　２つ

・車いすに乗っている人やベビーカーが通りやすいように、幅が広くなっている改札があるよ！大きい荷物を持っている人も通りやすいね！

・交通系ICカードをかざすと、ピッっと音が鳴るから、視覚に障害のある人もきちんとタッチできたか確認できるね！

もっとユニバーサルデザイン

交通系ICカードを改札にかざしたとき、手元に残っている金額が1000円以上と1000円以下の時でピッという音がちがうよ！

視覚に障害のある人でも、音だけで残りの金額がわかるように工夫されているんだね。（音を変えるには、駅の窓口で設定が必要だよ）

# クイズ４　ホームのユニバーサルデザイン

駅のホームには、いろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。

下にある中から、ホームの工夫に当てはまるもののかずを数えてみよう。

ホームのユニバーサルデザインの工夫は…

Ａ. ホームに模様がついている

Ｂ. 音声と文字情報で電車が来たことを知らせてくれる

Ｃ. 休憩できるベンチが置いてある

Ｄ. エレベーターが設置されている

Ｅ. 車両が止まる番号が足元に書いてある

正解は　３つ

・ベンチがあると、杖を使っている人や、妊婦さん、お年寄りなどみんなが楽に電車を待つことができるね！

・電車が来たことを音声や文字で伝えてくれるから、視覚に障害のある人や聴覚に障害のある人、みんなにとってわかりやすいね！

・エレベーターが設置してあることで、車いすに乗っている人やベビーカー利用の親子もホームに楽に行くことができるね！

もっとユニバーサルデザイン

西武鉄道のウェブサイトでは、電車の運行情報を、英語や中国語、韓国語でも教えてくれるから、日本語がわからない人も安心して電車に乗ることができるね！

# クイズ５　乗降口のユニバーサルデザイン

電車の乗り降りを行う乗降口にも、いろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。

下にある中から、都営大江戸線の乗降口の工夫に当てはまるもののかずを数えてみよう。

乗降口のユニバーサルデザインの工夫は…

Ａ. 電車とホームの段差やすきまがせまくなっているところがある

Ｂ. ホームに落ちないように工夫がされている

Ｃ. 優先席近くの扉がほかの場所の扉よりすこし大きい

Ｄ. 駅員さんがスロープを設置してくれる

正解は　２つ

・ホームと電車のすきまが小さくなっているから、みんなが電車に乗りやすくなっているよ！

・ホームドアが設置されているから、視覚に障害のある人も線路に落ちる心配なく、安心して電車を利用できるね！

もっとユニバーサルデザイン

都営大江戸線はエレベーターの近くにフリースペース（優先席）の乗降口が設置されているから、ホームを移動することが少ないんだよ。エレベーター近くのホームは電車との段差が少なく、車いすに乗っている人がスロープがなくても乗り降りできるんだ！

# 駅でのユニバーサルデザイン

そのほかにも、駅にはたくさんのユニバーサルデザインの工夫がされています。

エレベーターの工夫

駅のホームなどに設置されているエレベーターは、入口と出口が逆の方向になっていることが多いのを知っていましたか？これは、車いすに乗っている人が、エレベーターの中で方向転換しなくても出られるように工夫がされています。

さまざまな人が利用しやすいトイレの工夫

駅はさまざまな人が利用するため、トイレにも工夫があります。中が広く、手すりがついていたり、おむつ交換台やオストメイト対応トイレがあったり、さまざまな人が利用できるように工夫されています。

# 今日から始めよう！みんながすぐにできること

ユニバーサルデザインは、ものや建物だけではなく、ちょっとした思いやりや考え方で、みんなもユニバーサルデザインを実践することができます。

声をかけてみよう！

まちや学校で、困っていそうな人に気がついたら、どうしましたか？お手伝いしましょうか？と声をかけてみましょう。もしひとりではお手伝いができないことだったら、周りの人に助けを求めてみましょう。きっと、いっしょにお手伝いしてくれるはずです。

譲る心を持とう！

エレベーターは、誰もが気軽に利用できる便利な乗り物です。エレベーターが混雑しているときは、障害のある人やお年寄り、子ども連れのかたを優先し、譲りあって利用しましょう。少しの工夫で、いろいろな人を助けることができます。

ルールを守ろう！

車いす対応トイレやオストメイト（人工肛門・人口ぼうこうを造設されたかた）対応トイレなどを必要でない人が使ってしまうと、本当に必要な人がトイレに行けず困ってしまいます。障害のあるひと用の駐車場も同じです。一人ひとりがルールを守れば、みんなが暮らしやすいまちになります。

どうだったかな？全問正解を目指してね！